

2020年7月28日

各位

株式会社 SBI 証券  
三井住友カード株式会社

## 株式会社 SBI 証券と三井住友カード株式会社による 「新たな資産運用サービス」の提供に関するお知らせ

株式会社 SBI 証券(代表取締役社長:高村正人、以下「SBI 証券」)と三井住友カード株式会社(代表取締役社長:大西幸彦、以下「三井住友カード」)は、2020年7月28日(火)付で、個人向け資産運用サービスにおける業務提携(以下「本提携」)に関する基本合意書を締結しましたので、お知らせします。



### 1. 本提携の目的

SBI 証券と三井住友カードのそれぞれが属する SBI グループと SMBC グループは、本年4月28日(火)に発表した戦略的資本・業務提携に関する基本合意に基づき、両グループの各種領域における強みを活かした連携強化に向けて協議を進めています。今般、若年層および投資初心者への中長期的な資産形成の支援を目的として、SBI 証券と三井住友カードによる新たな個人向け資産運用サービスの提供に関する基本合意に至りました。

SBI 証券は、資産運用サービスにおいて、三井住友カードのクレジットカードなどを活用してサービスの拡充を目指すとともに、三井住友カードのお客さま、特に若年層および投資初心者層のお客さまに SBI 証券の金融商品・サービスを提供することで、顧客基盤の拡大を図っていきます。三井住友カードは、SBI 証券と金融商品仲介サービスで提携します。クレジットカード決済による投信積立サービスの提供など、資産運用と決済を組み合わせ、お客さまの多様化するニーズに的確に対応していきます。また、資産運用サービスについては、本提携に加え、SMBC 日興証券をはじめとするグループ各社との連携を高度化するとともに、グループ外のプレイヤーとの幅広い協働を通じて、新たな収益の柱として成長させていきます。

### 2. 本提携の内容

SBI 証券と三井住友カードは、2021年2月以降、順次以下のサービスの開始を予定しています。

＜三井住友カード経由で SBI 証券総合口座を開設されるお客さま(金融商品仲介業)＞

通常どおり、SBI 証券が提供する株式、投資信託などの金融商品や各種サービスを利用可能です。さらに、①～④のサービスもご利用いただけるようになります。

- ① SBI 証券の投信積立サービスにおける三井住友カードのクレジットカード決済  
(決済金額の0.5%分のVポイント<sup>\*1</sup>を付与)

- ② 三井住友カードアプリ上での SBI 証券総合口座情報の表示
- ③ V ポイント 1 ポイント=1 円として、SBI 証券の投資信託の買付ができる「V ポイント投資」
- ④ 投資信託保有残高に応じて V ポイントを付与※2

＜既に SBI 証券総合口座を開設済みのお客さまおよび三井住友カード経由以外で今後 SBI 証券総合口座を開設されるお客さま＞

SBI 証券が提供する株式、投資信託などの金融商品や各種サービスをすべて利用可能です。さらに、上記①②のサービスをご利用いただけるようになります。

さらに、今後、スマートフォンの活用を中心として、両社の強みを活かした新サービスを検討していきます。



## 新たな金融サービスを実現



## 顧客のキャッシュレス化・資産形成をサポート

オンライン総合証券として証券総合口座数、預かり資産残高、株式委託個人売買代金シェアにおいてネット証券 No.1※3 の地位を誇る SBI 証券とキャッシュレスリーディングカンパニーである三井住友カードの提携により、両社のお客さまの一層の利便性向上を図ることが可能となり、これまで以上に若年層、投資初心者層のお客さまに両社のサービスをご利用いただけるようになるものと期待しています。

※1 V ポイントは 2020 年 6 月 1 日(月)よりワールドプレゼントポイントからリニューアルした、三井住友カードが管理・運営する SMBC グループ共通のポイントです。三井住友銀行と三井住友カードのそれぞれの各種取引でポイントが貯まります。それぞれで貯まった V ポイントは、おまとめ手続きを行うことで合算して使うことができます。ポイント累積数に応じて希望の景品との交換や、銀行の振込手数料割引、他社ポイントへの移行ができます。三井住友カードの場合、通常、毎月のカードご利用金額

の合計 200 円(含む消費税など)ごとに 1 ポイント(1 円相当)を付与いたします。

V ポイントの詳細はこちらをご覧ください。 [https://www.smbc-card.com/mem/wp/about\\_vp.jsp](https://www.smbc-card.com/mem/wp/about_vp.jsp)

※2 投資信託保有残高に応じて T ポイントが貯まる「投信マイレージサービス」との併用はできません。

※3 比較対象範囲は、主要ネット証券 5 社との比較となります。「主要ネット証券」とは、口座開設数上位 5 社の SBI 証券、楽天証券、マネックス証券、松井証券、au カブコム証券(順不同)を指します。(2020 年 7 月 28 日現在、SBI 証券調べ)

### 3. 各社の概要

#### ■SBI 証券の会社概要

商号	株式会社 SBI 証券
設立	1999 年 10 月
本社所在地	東京都港区六本木 1-6-1
資本金	483 億 2,313 万円
代表者	代表取締役社長 高村正人
事業内容	オンライン総合証券

#### ■三井住友カードの会社概要

商号	三井住友カード株式会社
設立	1967 年 12 月 26 日
本社所在地	東京本社 東京都港区海岸 1-2-20 大阪本社 大阪府大阪市中央区今橋 4-5-15
資本金	340 億 3 千円
代表者	代表取締役社長 大西幸彦
事業内容	クレジットカード業務、デビットカード・プリペイドカード・その他決済業務、 ローン業務、保証業務、ギフトカード業務、その他付随業務

#### <金融商品取引法に係る表示>

商号等	株式会社 SBI 証券 金融商品取引業者
登録番号	関東財務局長(金商)第 44 号
加入協会	日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

#### <手数料等及びリスク情報について>

SBI証券の証券総合口座の口座開設料・管理料は無料です。

SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。